

7月号 クラスだより



ひよこ組



7月のねらい

- ・安定した生活リズムで、暑い夏を元気に過ごす。
- ・沐浴やシャワー、水遊びをしてさっぱりした心地よさを味わう。

<それぞれのペースでたっぷり遊んでいます>

保育者とのやりとりを喜び、表情や喃語、指差しなどで気持ちを伝えようしたり、保育者にわらべうたを歌ってもらったり、身振り手振りを真似しようしたりする姿が見られるようになりました。ハイハイをしている子同士で追いかけてっこをしたり、トンネルの中にいる子と外にいる子が、互いに目が合うとどちらからともなくにっこり笑い合ったりと同じ遊びを楽しむ中で友だち同士の関わりもさらに増えてきました。

最近はチェーンや札をタッパーやペットボトルの穴に落とそうとしていたり、マジックテープが付いている布を剥がしてみたりと、少しずつ手先の動きが細くなってきているのを感じます。

メッシュトンネルやプレイマットでハイハイで遊ぶことも楽しんでいます。トンネルに臆せず入って行く子、入らずに反対側から覗いて見ている子などさまざまですが、それぞれに興味を持っている様子が見られます。繰り返し遊ぶうちに、保育者に誘われてトンネルの中に入ってみる姿も。たくさん動いた後はマットの上で寝転んでリラックスしている子もいます。

涼しい日は、食事までの時間抱っこやバギーに乗って園庭で過ごすこともあります。手渡してもらった葉っぱやあんずの実をじっと見たり大事そうに握ったりと、自然に触れたり心地よい風を感じたりしながらそれぞれのペースで部屋の外での遊びも広がっています。

暑さが本格的になってきて室内で過ごすことが増えると思いますが、寒天や氷に触れるなど夏ならではの遊びを取り入れながら、暑い時期も楽しく過ごしていきたいと思っています。



りす組



7月のねらい

- ・水遊びを楽しみながら、水の冷たさや心地よさを感じる。
- ・保育者や友だちと関わりながら、好きな遊びを楽しむ。

<みいつけた！>

りす組は外で遊ぶのが大好きです。天気の良い日はできるだけ散歩に行きます。散歩先は『薬師公園』『二丁目公園』『台公園』『平和の森公園』です。今の時期は花や虫と沢山触れ合う事ができ、「ダンゴムシいるかな?」「お花咲いているかな」と話しながら向かいます。毎日どんな虫に会えて、どんな植物を見られか楽しみにしています。

今は特にアジサイの花を見て楽しんでいます。こどもたちはアジサイが大好きで、散歩中にアジサイを見つけると「あっアジサイあった!」と嬉しそうに教えてくれます。とても遠くにあるアジサイにも気づき、「あったよ」と嬉しそうに伝えてくれます。「何色のアジサイが好き?」と聞くと「あお!」「ピンク!」「イエロー」とそれぞれ好きな色を教えてくださいるので次はどんな色のアジサイが見られるのか楽しみにしています。

公園ではアリを追いかけてアリの巣を探したり、ダンゴムシを見つけてくると丸まるのを楽しんだりしています。ダンゴムシに触る時は「優しくいいいいこだねー」と声を掛けると、こどもたちも「ねー」と返事をし、じっとダンゴムシを見つめて触ってみようとしています。大グループでは虫に触る時に「動く虫が怖いもの」ということがわかり、ドキドキしてしまい、なかなか触れない子もいますが、勇気を出して触ってみようとする姿がとても可愛いです。小グループはまだ怖さがわからずに、躊躇せずに触っていたりします。これからも自然と触れ合って素敵な思い出を作れるようにしていきます。



うさぎ組



7月のねらい

- ・保育者に手伝ってもらいながら衣服の着脱をする。
- ・水や氷の感触を楽しみ、思う存分遊ぶ。

<やったー！水遊び！>

6月のおわりごろにテラスに水遊びのおもちゃや道具を置くと「これなあに？」「使いたい！」と早速気づきました。「これは水遊びの時に使うマットやおもちゃだよ。」と説明すると「水遊びしたい！」とワクワクしているこどもたち。水遊びが出来る日までおもちゃを眺めおあずけです。

そして、待ちに待った水遊びの日。朝の集まりで「今日水遊びしょっか！」と言うと「やったー！水遊び！」と立ち上がりジャンプして喜んでます。テラスに出るなり思い思いに好きなおもちゃを手に取り「これどうやって使うの？」「水もっと入れて！」と忙しそうに遊んでいます。ある子はお皿をずらりと並べて一枚一枚丁寧に水を注いだり、ある子は穴の開いたカップを積み重ねて上から水を入れ、ポタポタ落ちてくる水を真剣に見ていたり。

水が顔にかかっても大丈夫な子は豪快にタライの水をかき混ぜたりと、一人ひとり好きな遊び方をしています。これから色水をしたり氷を出してみたり、他にも色々な遊び方で水遊びを楽しみたいと思います。



ちゅうりっぷ組



7月のねらい

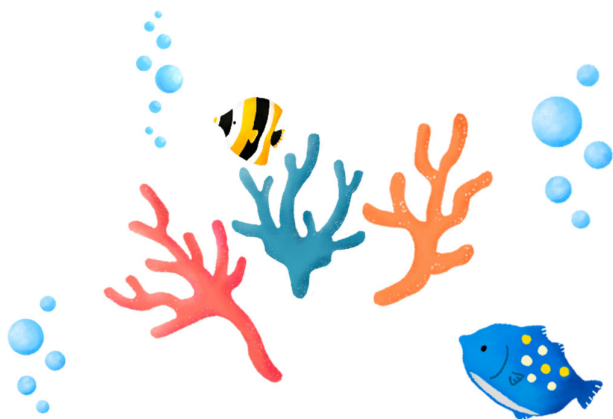
- ・夏の事象や活動に興味関心を持ち、夏ならではの遊びを思いきり楽しむ。
- ・野菜の成長や変化に興味を持ち、観察、世話、収穫を喜ぶ。

<野菜が大きくなってきた！>

晴れの日自分たちで水やりをしているこどもたち。リズム遊びの1番、2番の2グループで交互に行っています。毎日、朝の会で天気の確認と水やりを「今日は何番さんがお水あげるんだったかな？」と担当グループの確認をすることで、日々の習慣になっているように感じます。

野菜に水をあげる時には、「大きくなあれ」「美味しくなあれ」と水をあげる子がほとんどです。そして、どんどん大きくなる野菜たちの成長と一緒に喜び、「早く食べたいねえ！」と、まだ実も成っていませんが食べるのを楽しみにしています。水やりの時に、「お花が咲いてるよ！」と気が付き、「きゅうりは黄色いお花が咲くんだねえ」と発見したり、プランターの下にトカゲを見つけて、「お野菜食べに来たのかな？」と想像を膨らませたりと、こどもたちらしい発見や考え方が微笑ましいです！

以前は1つの野菜にばかり水をあげていたこどもたちでしたが、1人が全部の野菜に水やりをしている子を見て、みんなが全部の野菜に水やりをするようになりました。育てている野菜全てに愛情を持って水やりをしてきているのだなあとと思うと、心があたたまり、きっと美味しい野菜が出来上がるのだろうなあと今から楽しみです！



さくら組

7月のねらい

- ・プール遊びを思いきり楽しみ、開放的な気分を味わい心身ともに充実する。
- ・遊びを通して友だちとの関わりを深め、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

<イメージを共有して遊ぶ>

部屋で、園庭で、こどもたちは大人のそばを離れて、友だちと固まって遊ぶ姿がよく見られるようになりました。一番人気はおままごと。それぞれの役割りを決め、やんわりと設定を決め、おうちでのママやパパみたいに演じて遊びます。園庭ではバスマットやタイヤでいえを作り、その中で家族やお店を展開しています。その遊びを20分も30分も楽しそうに続けているのです。これは、遊んでいる子たちみんなが同じイメージを持っていないと続きません。ああしょうね、こうやってみようよ、がないと、思いがぶつかって遊びが切れてしまったり、けんかになってしまうのです。これはおままごとに限らず、鬼ごっこや積み木遊びでも同じです。

これから暑くなり、外へ出られない日が多くなってきます。部屋の中で友だちと過ごす時間が多くなると、友だちと密に関わって遊ぶ姿も増えるでしょう。夏は友だち関係がぐっと変わる季節。その変化が今から楽しみです。

もみじ組

7月のねらい

- ・お泊まり会を通して、仲間と協力してやり遂げた喜びを味わう。
- ・水遊びやプールなど、夏ならではの遊びを楽しむ。

<お泊まり会>

もみじ組は7月に保育園に“1泊”泊ります。「ひとつ(1泊)から挑戦してみよう!」「(連泊希望?!)」寝るとき、ちょっと寂しいかも…。」「手つないであげるよ!」などこどもたちもイメージをして計画を進めているところです。

当日の夕食はグループごとにこどもたちが作るカレーライスです。ピーラーを使って作ったにんじんシリシリや包丁を使って作った粉吹き芋等で経験を重ねて、6月にカレーライスも作りました。お泊まり会では、グループごと(3つの班)にカレーを作ります。それぞれのグループでのカレーに、グループの特色が出る予定です。「トマト入れたい!」「ナスは?」「ジャガイモ入れないっていうのはどう?」「(エッ?!担任心の声)」などなど、いまからこどもたち同士で相談しています。当日はどんなカレーになるかな! 食べ比べも楽しみです。今年は、デザートに牛乳シャーベットも作ります。「前のもみじさんは～」と先輩もみじのことを思い出しながら、やってみたかった花火もお風呂も楽しみにしています。1泊2日、楽しい時間になりますように。

